

はじめに

—「紀要」第二号の発刊に寄せて—

跡見学園女子大学文学部臨床心理学科
学科主任 山口 豊一

跡見学園女子大学文学部臨床心理学科は、「紀要」第二号を発刊することとなりました。

昨年度、創刊号を発刊し、臨床心理学に関する研究の成果を内外の関係機関等に発表する機会をもつことになりました。今年度は、昨年度に続いて第二号を発刊し、臨床心理学に関する知見を幅広く発信・共有することができることになりました。

さて、跡見学園女子大学文学部臨床心理学科の特徴について少し説明いたします。

臨床心理学科では、新時代の多様なフィールドで求められる「こころの専門家」を育てることを目的としています。そして、学生が希望する進路(コース)に応じたカリキュラムで、人間の心の不思議さや複雑さ、支援方法を理解し、臨床心理学的能力を身に付けることをめざしています。そのために、【臨床心理コース】【学校心理コース】【健康心理コース】【産業・企業心理コース】の4つのコースをもうけています。

また、心理学のなかでもスクールカウンセラーや認定心理士、認定健康心理士、産業カウンセラー、さらには臨床心理士(大学院)という「こころの専門家」の育成に努めています。人の心の複雑さ、身体と心の関係などを理解し、サポートを必要としている人への確かなサポートができる能力を身に付けることはもとより、カウンセリング実習やピアサポーターなどのさまざまな実習・ボランティア活動に参加することによって、多様な領域の心理学を実践的に学んでいます。

「紀要」第二号において、調査研究、実践研究、事例研究といった多様な研究が、9本掲載されています。臨床心理学的知見を踏まえた研究です。

これからも、本「紀要」に多くの研究成果が発表され、それが生かされ活用され、一人ひとり生活の質が向上することに寄与することを期待しています。